

OpenAI 「研究の80～90%がGPT-7以降」 発言の真実と戦略的影響

【検証】 発言の真実と流布された誤解

発言自体は「事実」だが
会計的な資源配分率ではない



原文は研究の「焦点 (focus)」を指しており、
予算・人員・GPU消費量の90%という意味
ではありません。

社内リークではなく
「外部の公開サミット」での発言



社内イベントではなく、外部主催のサミット
(Fellows Forum) 登壇時に公式に述べた
ものです。

論点

80～90%の意味

発言の場

GPT-7/8の位置づけ

実際のファクト



研究テーマ・方向性の
定性的な焦点



外部主催のサミット
(Fellows Forum)



将来世代を指す
概念的呼称

流布された誤解・拡張解釈



予算・人員・GPU時間の
定量的な投入比率



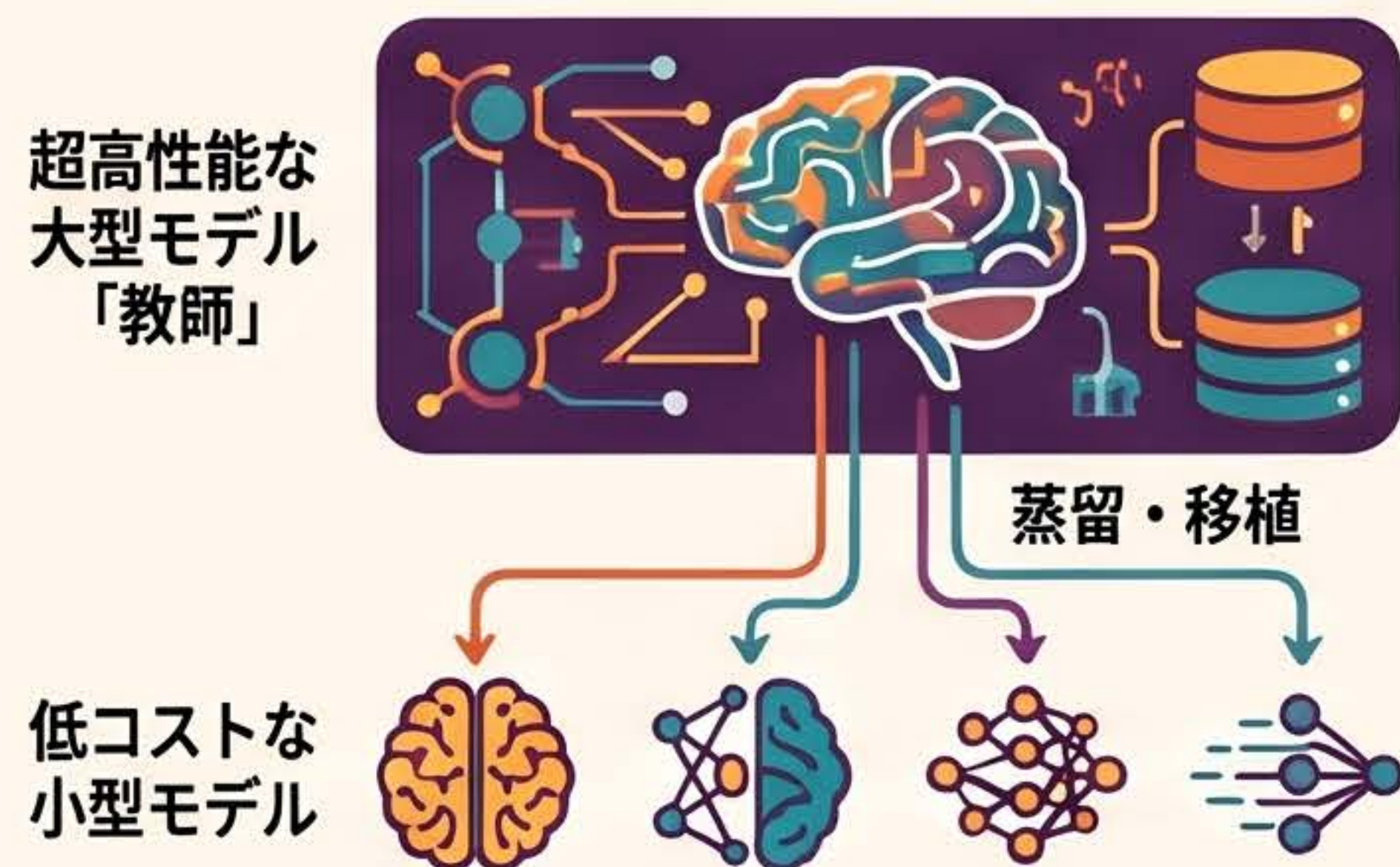
OpenAI内部の
非公開イベント



近日リリースが確定した
製品ロードマップ

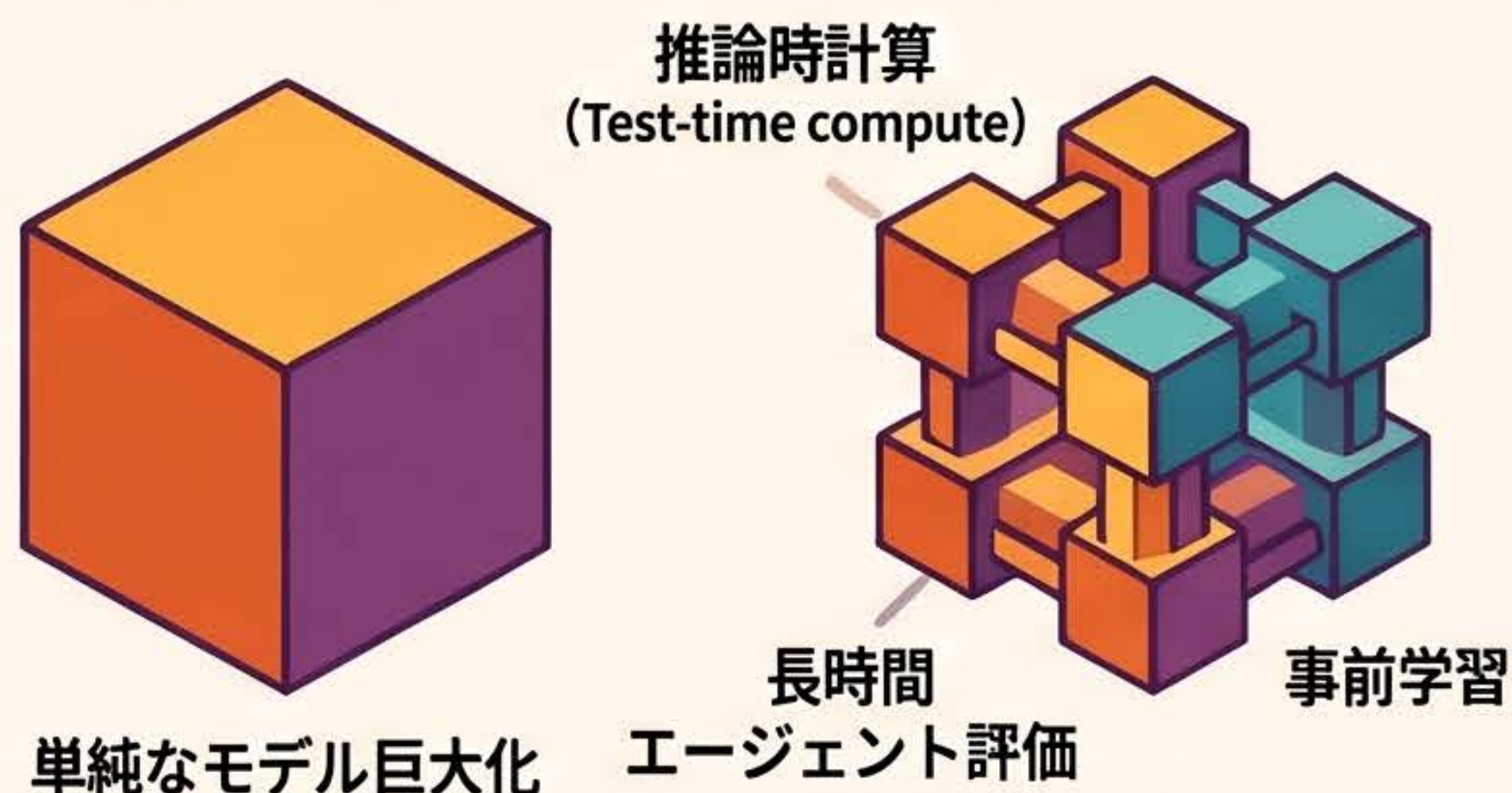
【戦略】 「Teacher → 蒸留」 構造と次世代のボトルネック

「Frontier Teacher → Distilled Deployment」モデル



超高性能な大型モデルを「教師」として開発し、低コストな
小型モデルへ能力を蒸留・移植する戦略です。

事前学習中心から「複合スケーリング」への転換



単純なモデル巨大化だけでなく、推論時計算 (Test-time
compute) や長時間エージェント評価が重要になります。

開発を左右する真の制約は「電力・データ・安全評価」



電力系統確保

GW級データセンターの
電力系統確保



高品質データの
枯渇

高品質データの枯渇に加え、GW級データセンターの電力系統
確保と高度な安全対策が主な壁となります。



高度な安全対策

高度な安全対策が
主な壁